

あま市国際交流協会趣意書

世界をより一層身近に感じたり、私たちが触れたことのない文化、伝統を紹介した平成 17 年に開催された日本国際博覧会「愛知万博」は、私たちに多くの発見や驚き、更には感動をもたらしました。

あま市を構成する旧 3 町は「愛知万博」において、フレンドシップ事業のパートナー国としてマリ共和国、ベトナム社会主義共和国、アゼルバイジャン共和国とそれぞれ国際交流を促進してきました。

平成 20 年 5 月 11 日には、甚目寺町国際交流協会が設立され、国際交流を展開する中、平成 21 年の七宝、美和、甚目寺町合併協議会の合併協定において、国際交流事業については、「甚目寺町国際交流協会との連携を継続し、新市における多文化共生を推進していく」と位置付けられました。よってここに名称を「あま市国際交流協会」と改め、あま市と一体の多文化共生の市民推進組織として、地域の国際化の一翼を担いたいと思います。

あま市には、平成 22 年 2 月 1 日現在、17 カ国 1,703 名の外国人登録があり、総人口の 1.93%を占めています。この多くの外国人に対し、外国人ならではの不便を取り除くため日本語支援、災害対策、医療・生活情報提供、人権擁護等の対応は欠くことはできません。

あま市国際交流協会は、万博のフレンドシップ事業の理念を継続し、外国との国際協力・交流、国際理解を推進するのみならず、地域において市民と多様な文化背景をもつ外国人が協働し、安心して暮らせるまちづくりを推進します。さらに世界の食、ことばなどの異文化体験、まち歩き、伝統文化紹介、アフリカ太鼓教室、日本語教室なども継承し、今年度は COP 10 関連でフレンドシップ国の紹介もします。本協会は、あま市の支援を得て、市民が主体となり、皆さまと共に活動を進めたいと思いますので、ぜひ活動に参加して下さい。

平成 22 年 3 月 22 日

あま市国際交流協会事務局
あま市企画政策課市民協働係

電話：444-1712